

# 海外移民の奨励【その1】

～急増する人口と農村の窮状打開の一策として～

## 国策として進められた 初期のハワイ移民

明治4年7月に締結された日本・ハワイ修好通商条約に基づき、ハワイに移民が渡りました。この「官約移民」の第1回目は、明治18年1月27日。政府の移民募集に応じた927人が米国汽船シティー・オブ・トーキョウ号で出航し、2月8日、ホノルルに到着しました。

日本政府が移民政策を積極的に推し進めようとした背景には、維新後に急増し続ける人口と、農村部の窮状を打開する意図がありました。

こうして始まった官約移民は、明治27年に至るまで、26回にわたり総数2万8995人に達します（『日本全史』講談社）。

当初は永住をめざす移民ではなく、サトウキビ（甘蔗）畑で契約労働者として働く、約3年間の契約移民でした。契約移民は、本人の希望によつてはさらに長く、あるいは永住することも可能で、満3年を過ぎるといつでも帰国することが出来ます。ただし、航海の旅費はすべて自己負担でした。

第1回の移民募集で、福岡県令（現在の知事）岸良俊介が、上妻・下妻郡に宛てた明治17年12月25日付の通知書が残っています。

今度布哇国出稼人募集之義ニ付、該国ヨリ依頼之次第有之、左之割合ヲ以、各郡区ニ於テ召集可至候條、別冊出稼人取扱規則并ニ心得書之趣ヲ示シ、篤ク勸奨可致且右ハ外国ニ出稼致候義ニ付、尚左ノ三ヶ條ニ就キテハ嚴重ニ注意シ、他日國際上榮譽ヲ失ハサル様、精々取調可致、此旨内達候事。

なお、「左ノ三ヶ條」とは、

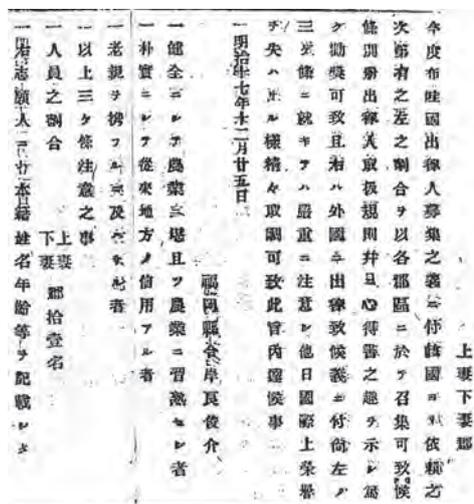
- 一 健全ニシテ 農業ニ堪、
- 一 且ツ農業ニ 習熟セシ者
- 一 朴実ニシテ 従来地方ノ 信用アル者
- 一 老親ヲ携フ ルニ及ハサル者

と記されています。

このとき上妻・下妻郡に割り当てられた人員の枠は11人。徴兵に關係ない40歳未満の者が対象となりました。なお、横浜までの旅費は自己負担ですが、都合によっては到着後の給料から振り替えも可能でした。

明治18年6月17日、第二陣の移民が山城丸で出航。乗船した989人中、149人が福岡県からの移民でした。明治17年12月25日に県から移民募集の通知が出され、その半年後には横浜から出航という、なんともあわたたしい出発でした。

明治27年に官約移民が終わり、その後は民間の斡旋業者によって続くことになります。



第1回のハワイ移民を募集する福岡県令の通達

## 広川町古墳資料館だより



直弧文ワークショップの講師 高木恭二氏（宇土市文化会館館長、古墳時代の石棺研究の専門家）の研究によると、石人山古墳の石棺は、菊池川流域の舟形石棺から発展した、北肥後型家形石棺に分類されます。

石人山古墳の石棺は、舟形石棺の棺蓋と、板石の棺身の組み合わせ式です。棺身の一方には、窓状の横口部を

持ちます。材質は熊本県玉名市付近の阿蘇溶結凝灰で、現在の石人山古墳に運ばれたものと考えられています。

古代の肥後地方は、菊池川流域や宇土半島基部で凝灰岩製の石棺をつくり、日本各地の大王墓に輸送する一大製産地でした。「熊本県の石棺文化が福岡県に北上し、5世紀代の九州独自の古墳文化を形成する一因となった」という説もあります。

# 広川町の学校教育

## 全国学力・学習状況調査

聞 教育委員会事務局

学校教育係

☎ 0943-32-0093  
(内線262、263)

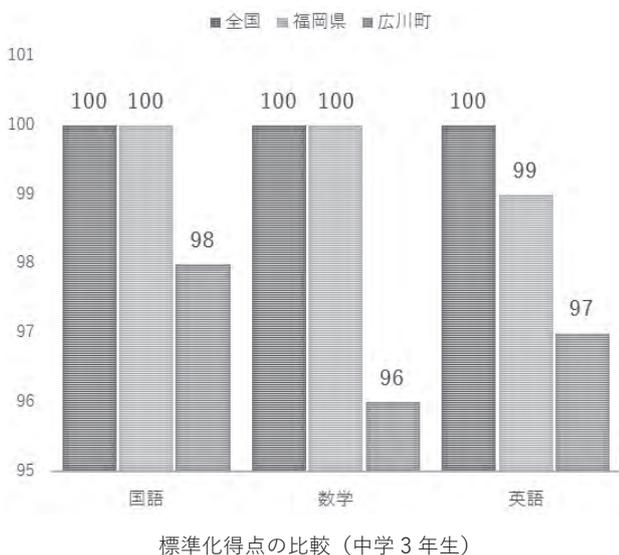
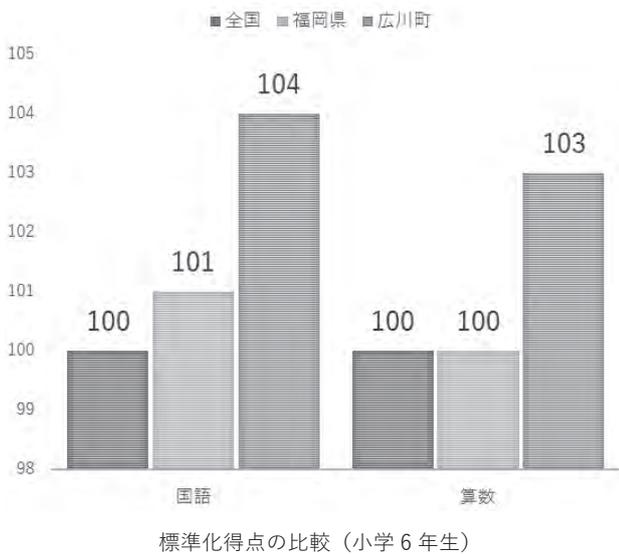
文部科学省が7月31日(水)

「全国学力・学習状況調査」(4月実施)の結果を公表しました。

「全国学力・学習状況調査」とは、文部科学省が平成19年から行っている学力と学習状況の調査。毎年4月、日本全国の公立学校の小学6年生、中学3年生を対象に実施しています。

### 学力調査

小学校は国語、算数の2教科、中学校は国語・数学・英語の3教科を調査。昨年度までは各教科、知識問題と活用問題の2種類でしたが、今年度は全教科、記述式問題が導入され、総合的な力を問うものになりました。中学校の英語では「読むこと」「書くこと」に関する問題に加え、「聞くこ



と」「話すこと」に関する問題が出題されました。

広川町の小中学生の学力について、標準化得点(全国の平均正答数を100としたときの平均得点)で公表します。

### ●小学校

各教科の標準化得点は、国語104点、算数103点を上回りました。

### ●中学校

各教科の標準化得点は、

国語98点、数学96点、英語97点。すべての教科で全国、県の平均を下回りました。

すべての教科において、記述式問題の正答率が低い傾向にありました。早急に指導方法を改善し、実施してまいります。

### 学習状況調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面など、小学6年生は58項目、中学3年生は69項目を調査。その結果のうち、特徴的な項目をご紹介します。19ページの表をご覧ください。

### 学力と学習状況の関係

昨年度までの学力・学習状況調査などから、児童生徒の学習状況と学力には強い関係があることが示されています。広川町でもその傾向が見られ、今回の調査でも次のような結果が得られました。

●小学6年生において、毎朝同じ時刻に起きている児童とそうでない児童では、前者の学力が後者の

表 学習状況調査の結果  
児童数・生徒数の割合 ( ) 内は全国平均との比較

	プラス面	マイナス面
小学6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事に参加している ……90.0% (+22.0%)</li> <li>・5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTを週1回以上使用した ……51.9% (+21.3%)</li> <li>・昼休みや放課後、学校図書館や地域の図書館に週1回以上行く……40.2% (+20.0%)</li> <li>・自分で計画を立てて勉強をしている ……77.3% (+5.8%)</li> <li>・学校の授業以外に、普段家で全く読書をしていない……13.2% (-5.5%)</li> <li>・難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している……83.6% (+4.6%)</li> <li>・学校に行くのは楽しいと感じている ……89.9% (+4.1%)</li> <li>・自分によいところがあると感じている ……85.2% (+4.0%)</li> <li>・家で1日当たり全く勉強をしていない ……0.5% (-1.8%)</li> <li>・将来への夢や目標を持っている ……85.2% (+1.4%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30分以上読書する……31.8% (-8.0%)</li> <li>・新聞を週に1回以上読んでいる ……17.0% (-2.0%)</li> <li>・学校の決まりを守っている ……89.0% (-0.5%)</li> <li>・家で1日当たり1時間以上勉強をしている ……66.6% (-0.5%) [8年連続全国平均を下回っている]</li> <li>・朝食を毎日食べている……85.7% (-1.0%)</li> <li>・いじめは、どんな理由があってもいけないと思っている……96.8% (-0.3%)</li> </ul>  <p>図書館を活用した学習の様子。図書館を利用する児童の割合は、全国平均より20.0%も上回った</p>
中学3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事に参加している ……63.6% (+13.0%)</li> <li>・学校の授業時間以外に、家で30分以上読書する……29.7% (+9.3%)</li> <li>・家で1日当たり全く勉強をしていない ……1.2% (-3.2%)</li> <li>・朝食を毎日食べている……84.8% (+2.5%) [昨年度の広川町より+11.5%]</li> <li>・学校の規則を守っている ……98.1% (+1.9%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家で1日当たり2時間以上勉強をしている ……30.3% (-6.2%)</li> <li>・人が困っていたら進んで助ける ……83.0% (-3.9%)</li> <li>・いじめは、どんな理由があってもいけないと思っている……89.7% (-3.4%)</li> <li>・将来の夢や目標を持っている ……67.3% (-3.2%)</li> <li>・自分によいところがあると感じている ……71.5% (-2.6%)</li> </ul>

などが必要不可欠です。ご家庭で協力し合い、改善策を探りながら、生活環境を整えていきましょう。

- ・規則正しい生活を送る
- ・読書をする
- ・朝食をとる
- ・規範意識を育てる
- ・学習意欲を向上させる

学力の向上には、  
8ポイント高い。  
3ポイント、英語は11・  
8ポイント、数学は18・  
よりも高い(国語は19・

- 小学校3年生において、毎日朝食を食べている生徒とそうでない生徒では、前者の学力が後者の学力よりも高い(国語は19・8ポイント、数学は18・3ポイント、英語は11・8ポイント高い)。
- 小学6年生において、読書をする児童としない児童では、前者の学力が後者の学力よりも高い(国語は21・4ポイント、算数は7ポイント高い)。
- 小学6年生において、読書をする児童としない児童では、前者の学力が後者の学力よりも高い(国語は21・4ポイント、算数は7ポイント高い)。